

令和6年度 事業報告

1 臓器提供意思表示の推進や移植医療の普及啓発事業

(1) みやざき“いのちのリレー”ポスターコンテスト

募集期間：7/22～9/11 応募総数：101点 表彰式：10/20

入賞作品展示：10/21～27(イオンモール宮崎)、11/5～11/11(県企業局1階ギャラリー)

※ 一般社団法人宮崎県腎臓病協議会と共催して実施

(2) グリーンリボンキャンペーン in みやざき (10/20 於：イオンモール宮崎)

ステージ：ステージバルーンツイスターによるステージパフォーマンス、
臓器提供意思表示の呼びかけ

啓発ブース：デジタルサイネージでの啓発動画放映、ポスターやバナー展示、
リーフレットの設置

(3) 県庁舎での啓発活動

本館グリーンライトアップ (10/15～20)、防災庁舎パネル展 (9/17～30)、
新規採用職員向け啓発 (10/10～11)

(4) 県内市町村、医療機関、公共機関等でポスター掲示、リーフレットの配布

(5) 県薬剤師会所属薬局における意思表示啓発資材の設置

(6) 出前講座

- ・小林看護医療専門学校
- ・都城看護専門学校 医療高等課程
- ・宮崎大学医学部 看護学科
- ・フィオーレKOGA看護専門学校
- ・延岡看護専門学校 医療高等課程
- ・都城医療センター附属看護学校
- ・日南看護専門学校
- ・藤元メディカルシステム付属医療専門学校
- ・都城東高等学校 看護専攻科
- ・日南学園高等学校田野分校 看護専攻科
- ・鵬翔高等学校 看護科

(6) 情報誌「MOTTO」発行

①「MOTTO51号」令和6年8月

②「MOTTO52号」令和7年1月

※ 臓器提供意思表示に関するリーフレット等 配布枚数：19,324枚

2 腎臓移植推進助成事業

腎臓移植希望者への組織適合性検査（HLA）の費用助成：8名

県内在住者の83名が日本臓器移植ネットワークへ腎臓移植希望登録(R6.12.31現在)

3 協力体制整備支援・推進事業

(1) 腎臓提供協力病院連絡会議

第1回 10/8 (WEBにより開催)

講師：熊本医療センター 救命救急・集中治療部 櫻井 聖大 先生

演題：臓器提供事例における院内コーディネーターの関わり

第2回 3/24 (WEBにより開催)

講師：鹿児島大学病院 救命救急センター・集中治療部 佐藤 満仁 先生

演題：鹿児島大学病院における臓器提供症例

(2) 院内臓器提供体制整備支援

- ・宮崎県立宮崎病院を定期的に訪問 ～院内臓器提供体制の強化を支援
- ・協力病院を訪問 ～院内の体制の把握、情報提供 等

4 賛助会員の拡充等

県内各種団体、市町村等約2,000箇所に宮崎県移植推進財団の活動状況を添え、賛助会員・寄付を募集した。

賛助会員：法人 75 団体、個人 44 人 1,647,000 円

寄 付：延べ 399 団体・個人 1,138,033 円

合計 2,785,033 円

5 あっせん業務へのコーディネーターの派遣

- (1) ドナー情報 1 件
- (2) 提供数 0 件
- (3) 移植数 4 件
- (4) 他県でのあっせん業務支援 13 件